

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 05-02-06	事務事業名 高齢者入浴券支給事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
-------------------	---------------------	-----------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいがづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	------------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	銭湯で利用できる入浴券を支給することで、ひとりぐらし高齢者等の健康保持と保健衛生の向上を図る。 事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 対象は、市内在住の65歳以上でひとりぐらし高齢者及び70歳以上で構成されていて、入浴設備を有しない世帯の高齢者。訪問調査の上、入浴設備の有無を確認し、1月1人10枚を限度に、銭湯で利用できる入浴券を支給する。年4回に分けて支給するものとし、民生委員からの手渡しを原則とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
事業開始時期 13 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )		

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		15,808	13,900	12,399	12,351
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ( )		0	0	0	0
一般財源		15,808	13,900	12,399	12,351
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	817	808	808	817
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	16,625	14,708	13,207	13,168
単位当たりコスト(E)=(D)/(新規認定者数)	千円	924	613	777	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①新規認定者数	実績値 人	18	24	17	
②廃止者数	実績値 枚	32	31	34	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 風呂なしの住宅が徐々に少なくなっているため、対象者も微減しているものと思われる。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次 対象者数	目標値 人				
	実績値 人	235	228	210	
二次 支給枚数	目標値 人				
	実績値 人	28,408	26,730	25,582	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 対象者の減少により、支給枚数もゆるやかに減少している。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	利用者からは、特に夏場など健康や衛生面で助かっているとの話を聞く。また、高齢者同士のふれ合いの場ともなっているということで、喜ばれている。 一方、ひとり暮らしの高齢者からは、自宅に風呂があっても、特に冬場の入浴には不安があるため、支給を受けたいとの要望もある。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 対象者については他市とほぼ同様。支給枚数についてはばらつきがあるが、10枚支給の市が一番多く、平均的である。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 福祉センターでの入浴により、不足分を補っている利用者も多いが、施設規模には限界がある。

事業コード 05-02-06	事務事業名 高齢者入浴券支給事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
-------------------	---------------------	-----------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいがづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	------------------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>前回の評価において、福祉会館や老人福祉センターの入浴施設の活用による事務改善を指摘されているが、既に入浴券の不足分を補うために活用している利用者も多く、施設規模を考慮すれば、全てをまかなうことは難しいと考えられる。</p> <p>本事業は、身体を衛生に保つだけでなく、浴場に通うことでコミュニケーションが広がるという効果も期待できる。さらに、利用者の中には低所得世帯も含まれており、自費での入浴券購入が難しい利用者も存在する。そして、民生委員が直接自宅に訪問して配布するため、利用者世帯の見守りと実態を把握する貴重な機会となっている。</p> <p>以上より、入浴により身体を清潔に保つことができるという基本的な効果はもちろんのこと、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯と民生委員・市とのつながりを保ち、見守りの重要な役割を担う事業であり、継続実施であると考えられる。</p>
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>自宅に入浴設備を有しない高齢者に対して福祉センター等の入浴施設の利用を補う意味から、本事業は有意義と考える。今後、施設的な観点から、利用者の減少が見込まれるが、継続実施が望ましい。</p>
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、入浴設備を有しない高齢者世帯の保健衛生の確保等の観点から、当面は継続すべき事業と評価できる。ただし、本事業の利用者数の推移や、福祉会館等の入浴サービスの利用状況の推移を注視し、必要に応じて見直しを検討されたい。</p>